

6月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和5年6月末現在〕

令和5年7月12日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」は悪化し、「収益状況」「売上高」は改善した。

業種別では、「景況」「売上高」は製造業では悪化したが、非製造業は改善した。「収益状況」は製造業と非製造業ともに改善した。

特に、「売上高」においては、製造業の数値が大幅に悪化、非製造業の数値が大幅に改善し、結果が二極化した。「収益状況」を見ると、非製造業の数値が大幅に改善し、全体の数値を押し上げた。依然として、幅広い業界で、エネルギーや原材料等の価格高騰による収益確保や人手不足に苦慮している旨を訴える報告が多く見られた。

景況DI

製造業は、前月比11.5ポイント悪化の▲34.6ポイント、非製造業は、前月比増減なしの▲12.5ポイント、全体では、前月比6.0ポイント悪化の▲24.0ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比23.0ポイント悪化の▲19.2ポイント、非製造業は、前月比29.1ポイント改善の20.8ポイント、全体では、前月比2.0ポイント改善の0.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比3.9ポイント改善の▲26.9ポイント、非製造業は、前月比16.7ポイント改善の▲25.0ポイント、全体では、前月比10.0ポイント改善の▲26.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和5年6月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	食料品	学校給食パン	10月からのインボイス制度本格導入に向け、組合としての対応を検討中。組合員により同制度への対応が異なるため、組合と組合員間との取引についても一律に対応できない等課題がある。
		清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県5月の清酒課税移出数量は、対前年同月比97.4%であった。本格焼酎については、対前年108.7%であった。本格焼酎は清酒の5.6%の数量なので酒蔵の経営に及ぼす影響は限定的である。4月に続いて5月も対前年割れであったが、コロナ禍後の飲食における酒の消費の仕方にも変化が出てきているとも考えられる。好んで酒を消費する人が減っていることと、諸物価の高騰により嗜好品である酒に対する支出が減っていると思われる。 ○県内当業界について 5月24日発表となった「全国新酒鑑評会」にて茨城の酒蔵10蔵が入賞した。10蔵の入賞は全国第10位であり、昨年より2蔵入賞数が減少したが、依然全国で上位を確保している。全国新酒鑑評会は国税庁と日本酒造組合中央会が共催で、明治から続いている日本で一番権威のあるコンクールである。
		納豆	全体的に先月に比べて低調であるが、特に売上高が悪化している。特に土産品としての納豆の売上高はコロナ禍前はおろか、昨年の水準にも及ばないが、量販店向きの商品も決して好調とはいえない状況である。原材料費もこのところ落ち着きを見せているものの、高止まりの状況であり、値上げ効果を相殺しかねない状況である。またコロナ融資の返済も経営の圧迫要因である。詰まる所これまでのコロナ禍やウクライナ情勢の影響を脱し得ない状況が続いており、業界全体が強い閉塞感に覆われている。
		菓子	顧客の購買状況は弱い。物価高で可処分所得が少ないためと思われる。ウィズコロナでの復活を目指し、イベントや祭りを実施して活気をつけることも必要である。
		漬物	原料価格や包装資材、燃料費は、相変わらず値上げが進んでいるが、各企業はそれに対応しながら、少しずつ回復傾向もみられる。人材不足の状況は変わらず続いている。アイデア広報戦略を考えながら、経営戦略を前向きに考えていきたい。
	繊維工業	県北地区外衣シャツ	高級品メーカーからの受注が入ったことと、単価が低いものについては、単価の見直しをしたために売上高が少し向上した。
	木材・木材製品	製材	・構造材、造作材、羽柄材とも荷動きは低調で推移。価格はいずれも弱含みである。 ・外材についても、荷動きは低調で、価格も強含みが続いている。 ・原木の価格については、杉、桧とも前月に比べ値下がりで推移した。
		県北地区プレカット	月間加工坪数は目標の60%を達成。7月の加工予定は、初旬～中旬に固まり、現時点で下旬の予定が無し。材料費（木材）は未だ底値を維持している。
		県央地区プレカット	6月は大型物件の加工があり忙しい状況となった。現状、新築戸建ての棟数も減少傾向にあるので、大型物件の有無により工場生産量が大きく変動する。7月も大型物件の受注があるので、もう少しばかり忙しい状況が続くと思われる。
	紙・紙加工品	段ボール	業界全体の売上高は、前年割れ。大手企業も悪いが、我々中小企業は更に悪く売上高が前年同月比5～15%ダウンした所がある。物価が上がったためか、買い控えが起きているのではと思うほど、消費がされていないように思う。
	印刷	総合印刷	各種イベントの開催がリアルで規制のかからないものに戻ってきており、僅かながら印刷物の需要回復面では期待できるが、毎年6～8月のこの時期は印刷物の需要が少なく、資金繰り、採算面ともに厳しい状況が続く。
	窯業・土石製品	陶磁器	春の行楽シーズンのイベント関係が終了し、現在はイベントが行われない時期のため、売上高、客数ともに減少している。秋シーズン（10～11月）に開催されるイベントに向けての準備を行ってきたい。
	鉄鋼・金属	鉄鋼	売上高は前年同月比110%。しかし、売上高増は昨年度の加工代見直しによるもので、燃料費・電気代・材料費等購入品の値上げ等が重なり収益増には繋がっていない。仕事量は前年に比べ若干上向いているが、まだ十分とはいえない。今後の景気上昇に期待したい。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和5年6月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	一般機器	生産用機械	対象7組合員（製造会社）の売上高の状況は前年同月比で7社全て増加であった。団地全体の売上高は、主要取引先からの受注が増加したことから2か月連続で前年同月比で全社とも増収となった。組合員企業の従業員数は、ほぼ横ばいである。
	輸送用機器	県北地区自動車部品	生産高は上昇傾向にあるものの、組合員間の業績にばらつきが生じてきた。完成品を納入できず、社内で保管している会社もある等、従前にはなかった課題も生じている。
非 製 造 業	卸売業	生鮮魚介	精算所取引高は前年同月比108.41%。取引高は前年同月比で上回っているものの、商品単価の上昇で物量自体は伸び悩んでいる。近海魚等も水揚げ量が減っているため、高値で推移しており厳しい状況である。量販店等、人の流れはコロナ禍前の通常に戻りつつあるため、各種イベントや7月末には土用の丑の日等もあるため、今後に期待している。
		袋セメント	袋セメントの6月出荷数量は38千袋、前年同月比101.3%とまずまずの実績。県北地域の低迷に加え圏央道大型物流倉庫等の案件が一段落して需要が減ったが、県南地域の工業団地建設案件等でカバーした。
	小売業	県北地区共同店舗	売上高は前月同月比97.3%、客数は同93.7%、前年同月の売上高を確保できた店舗は42.8%となり、今一つの結果となった。
		県央地区共同店舗	館全体の既存店+新店（アミューズメント1店舗）の売上高（客数）は、前年同月比100%（99%）となり、ほぼ同等であった。 主要業種：食品106%（101%）、飲食99%（97%）、ファッション100%（98%） 年に2回の特別セールを22日～24日で開催し、昨年同企画対比で売上高107%と好調であった。同セール期間に茨城県観光物産協会の「いばらきスイーツ&グルメフェア」を開催し、お客様からも好評であった。収益状況については、電気料金をはじめ備品代やチラシの作成費も値上がりしており非常に収益状況を圧迫している。
		県南地区共同店舗	従業員の確保ができず、全日営業が困難な店舗が増加している。地域内では、飲食店舗の閉店が目立つ。組合員店舗は高齢化が進み、後継者がいない等、将来の見通しがたかない。
		家電	組合員は、時代に対応できる顔の見える商売と高い技術を武器に今日まで展開。新型コロナウイルス、高齢化と昨今逆風が吹いている感がある。若い組合員にも組合事業により協力して頂く必要がある。夏・秋の取組支援を新体制のもと図っていくことを望む。
		燃料	原油価格の上昇、円安の影響により小売価格は高止まりしている中、政府の燃料油価格激変緩和補助金が6月から9月の間に補助率を段階的（2週毎に10%減）に縮減することとなり、6月末で30%縮減の補助率70%になった。石油情報センターの「石油製品小売市場調査」の結果においても小売価格は上昇しており、掛売り等対応に苦慮している。消費者に理解してもらうよう周知が必要である。組合員からも今後について不安がでている。
		中古自動車	6月期の販売価格は前年同月比で108.4%と大きく上昇したものの、販売台数が同87.4%と減少したため売上高は同94.7%と減少した。新車供給遅れの解消で中古車の流通は安定しているが、物価上昇の影響から大きな出費となる車の購入を先延ばしにする消費者は少なくはない。昨年の深刻なタマ不足による需給バランスの崩れと逆転し、十分な流通に購買意欲が追いついていない状況が続いている。
		食料品	当組合は食品流通業であり、組合員の売上に関しては、新型コロナウイルスの中で食のライフラインを担っている。6月のは前年同月比で101%となり、5か月連続で前年超えを達成した。要因として、部門ごとの売上で前年6月から青果部門、惣菜部門、一般食品の飲料の売上高が前年同月比を上回ることができたのが大きな要因である。今後も継続できるようにしていく。しかしながら、鮮魚部門は3か月連続で前年を下回っている状況と一般食料品（調味料等）が2か月連続でメーカー各社の値上げにより、販売価格の値上げの影響と思われる販売数量減による売上高減となっている。早急に対応策を講じていく。 5月からは国の新型コロナウイルス対応が新たなステージになったが、しばらくの間は今までどおりの新型コロナウイルス感染対策を継続していく。
		野菜・果実	6月の取引高は前年対比が野菜果物合計で103.1%となった。上旬から中旬にかけては、単価安で推移したが、下旬からは、上旬の台風をはじめとした天候不良の影響も出始め、一転して単価高となった。
	商店街	水戸	材料（飲食店等）の価格や光熱費の高騰で収益が悪化している。人手不足であり、人件費も高騰している。
		筑西	売上高は、新型コロナウイルス感染拡大以前の約40%は戻ったが、それ以上に戻る様子が見受けられない。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和5年6月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非 製 造 業	サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数（持込検査）の対前年同月比は、普通車・軽自動車ともに微増となった。原油価格等ならびに電気代等の高騰により収益面での悪化が、懸念される。
		旅館、ホテル	コロナ禍前とはいかないが、人の流れが少しずつ戻ってきたことにより、冠婚葬祭・各種団体の総会・懇親会等が開催されるようになってきた。 しかし、電気料金・原材料・人件費等の高騰により収益を得ることが大変困難な状況となっている。また、旅行支援事業終了に伴い、売上高が減少傾向にあり、今後の動向に不安を感じている。
	建設業	総合	公共工事の入札は活発化しているが価格競争は激しいまま推移している。この状況は当分おさまらない見通し。工事受注額及び利益は減少傾向にある。理由はダンピング受注によることに変わりがない。その状況の中で人手不足も深刻である。
		県北地区管工事	5月末で組合員が1社脱退し、組合員数が6月末で40社となった。
	運輸業	軽貨物自動車	当月の組合員数は107名、車両台数は137台で前月と比較して2名減少、2台減少であった。また、運送売上高については、前年同月比98.2%であった。全国連合会での当月の組合員数は6,494名、車両台数7,721台で前月と比較して40名減少、52台減少であった。
		一般貨物自動車	主要顧客の発送量は回復せず、減少したまま推移している。 輸送運賃については、昨年と比べ値上げして頂いたが、まだ十分な運賃水準とは言えず、人件費上昇や経費の上昇等、依然収益は厳しい状況にある。また、燃料価格については、政府補助金の縮小に伴い、徐々に値上がりしており更に厳しい。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食パン	学校給食におけるパン給食回数増要望
	納豆	全体的に手詰まり感の強い中、何らかの消費拡大策を渴望している。特に旅行支援も予算が枯渇しつつある中、更なる地場産業浮揚策を期待したい。また十分な景気回復が見込めない状況であるので、コロナ融資の返済に対する支援、緩和措置も期待される。
小売業	県央地区共同店舗	協同組合や店舗が活用できる補助金や助成金、またイベントで活用できる補助金などの情報や事例を教えて欲しい。また、県内で活動をPR希望の組合や団体様を紹介して頂きたい。
	家電	現在、夏商戦で省エネ家電（エアコン・冷蔵庫等）を勧めている。国は、家庭における省エネ・脱炭素化を勧めているが、県内では家電等を購入する際の補助事業が一部の市町村にとどまっている。市町村単位としてでなく、県単位としても補助事業制度を創設してほしい。
	燃料	揮発油税に課税している二重課税の廃止 燃料油価格激変緩和策の継続（9月で終了） 燃料油価格激変緩和策の終了に伴う消費者への周知 コロナ後の景気対策
サービス業	旅館、ホテル	旅行支援については、6月で終了とのことであるが、地域によっては支援を延長している。可能であれば、本県も延長（再開）願いたい。
建設業	総合	土木工事は毎年総工事発注金額の変動は少ないが、建築工事は大きく変動する。本年度は特に減少が大きく各社厳しい状況となっている。国の施策による補助金の有効期限が短いことが原因ではないだろうか。長期に均等な工事を確保していただきたい。

月次景況調査 6月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	6月	5月	前月比	6月	5月	前月比	6月	5月	前月比
景 況	▲ 24.0	▲ 18.0	▲ 6.0	▲ 34.6	▲ 23.1	▲ 11.5	▲ 12.5	▲ 12.5	0.0
売 上 高	0.0	▲ 2.0	2.0	▲ 19.2	3.8	▲ 23.0	20.8	▲ 8.3	29.1
収 益 状 況	▲ 26.0	▲ 36.0	10.0	▲ 26.9	▲ 30.8	3.9	▲ 25.0	▲ 41.7	16.7
販 売 価 格	34.0	34.0	0.0	19.2	19.2	0.0	50.0	50.0	0.0
取 引 条 件	▲ 14.0	▲ 16.0	2.0	▲ 15.4	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 12.5	▲ 25.0	12.5

中小企業月次景況調査(令和5年6月)DI値(前年同月比)

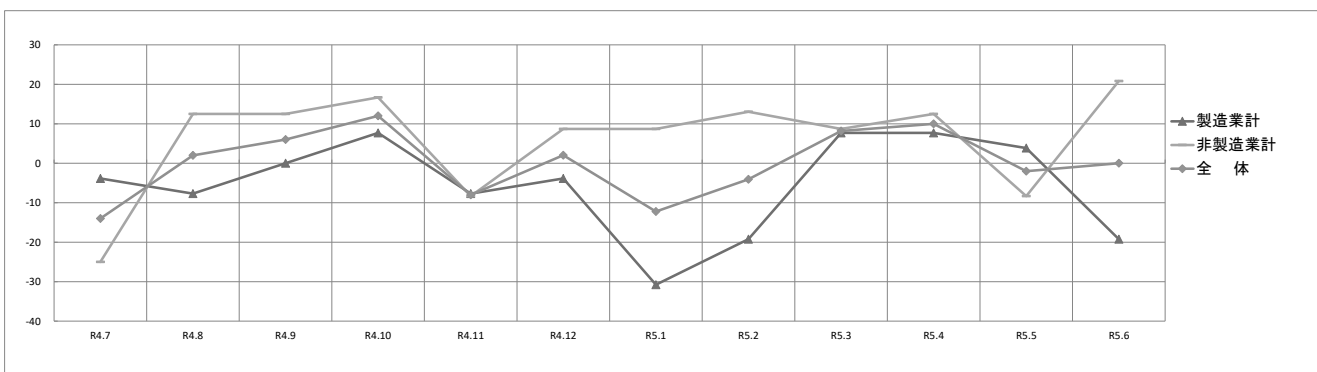
		売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況												
		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)										
製造業	食料品	△ 66.7	0	2	4	6	△ 16.7	1	3	2	6	66.7	4	2	0	6	0.0	0	6	0	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 50.0	0	3	3	6	△ 16.7	1	3	2	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 33.3	0	4	2	6
	繊維工業	0.0	1	1	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	
	木材・木製品	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	化学・ゴム	△ 100.0	0	0	1	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	窯業・土石製品	△ 40.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	40.0	2	3	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 60.0	0	2	3	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5
	鉄鋼・金属	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	一般機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	電気機器	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	100.0	1	0	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	66.7	2	1	0	3	0.0	1	1	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	33.3	1	2	0	3	33.3	1	2	0	3	△ 33.3	0	2	1	3
	製造業計	△ 19.2	5	11	10	26	△ 7.7	3	18	5	26	19.2	7	17	2	26	△ 15.4	1	20	5	26	△ 26.9	2	15	9	26	△ 23.1	0	20	6	26	△ 11.5	3	17	6	26	△ 3.8	1	23	2	26	△ 34.6	0	17	9	26
非製造業	卸 売 業	66.7	2	1	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	100.0	3	0	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3					0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	
	小 売 業 (商店街含む)	8.3	5	3	4	12	0.0	1	10	1	12	50.0	7	4	1	12	△ 25.0	0	9	3	12	△ 50.0	0	6	6	12	△ 16.7	0	10	2	12					△ 25.0	0	9	3	12	△ 25.0	1	7	4	12	
	サービス業	0.0	1	0	1	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	1	0	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0					1	0	1	2	50.0	1	1	0	2		
	建 設 業	40.0	2	3	0	5					40.0	2	3	0	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0					0	5	0	5	0.0	0	5	0	5		
	運 輸 業	0.0	0	2	0	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0					0	2	0	2	0.0	0	2	0	2		
	非製造業計	20.8	10	9	5	24					△ 6.7	1	12	2	15	50.0	13	10	1	24	△ 12.5	0	21	3	24	△ 25.0	2	14	8	24	△ 8.3					0	22	2	24	△ 12.5	1	19	4	24	△ 12.5	2
全 体		0.0	15	20	15	50	△ 7.3	4	30	7	41	34.0	20	27	3	50	△ 14.0	1	41	8	50	△ 26.0	4	29	17	50	△ 16.0	0	42	8	50	△ 11.5	3	17	6	26	△ 8.0	2	42	6	50	△ 24.0	2	34	14	50

D I 値推移表 (R4. 7月 ~ R5. 6月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R4. 7	R4. 8	R4. 9	R4. 10	R4. 11	R4. 12	R5. 1	R5. 2	R5. 3	R5. 4	R5. 5	R5. 6
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 33.3	33.3	33.3	▲ 33.3	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	10.0	0.0	10.0	15.0	▲ 5.0	10.0	▲ 30.0	▲ 15.0	0.0	0.0	15.0	▲ 5.0
製造業計	▲ 3.8	▲ 7.7	0.0	7.7	▲ 7.7	▲ 3.8	▲ 30.8	▲ 19.2	7.7	7.7	3.8	▲ 19.2
卸売業	▲ 66.7	0.0	66.7	0.0	▲ 66.7	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	▲ 66.7	0.0	66.7
小売業(商店街含む)	▲ 16.7	8.3	▲ 8.3	0.0	▲ 8.3	0.0	27.3	0.0	9.1	16.7	▲ 25.0	8.3
サービス業	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
建設業	▲ 20.0	20.0	0.0	40.0	▲ 20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	40.0
運輸業	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0
非製造業計	▲ 25.0	12.5	12.5	16.7	▲ 8.3	8.7	8.7	13.0	8.7	12.5	▲ 8.3	20.8
全体	▲ 14.0	2.0	6.0	12.0	▲ 8.0	2.0	▲ 12.2	▲ 4.1	8.2	10.0	▲ 2.0	0.0

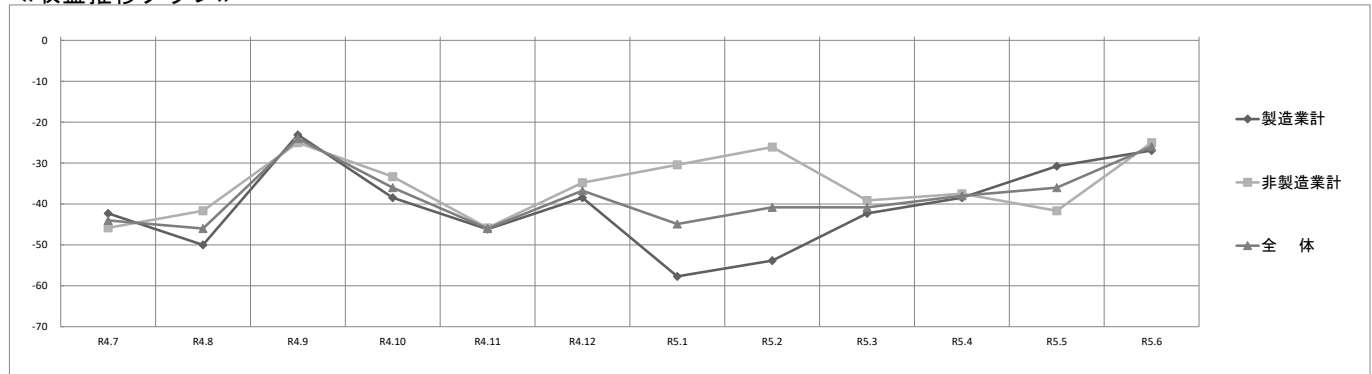
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R4. 7	R4. 8	R4. 9	R4. 10	R4. 11	R4. 12	R5. 1	R5. 2	R5. 3	R5. 4	R5. 5	R5. 6
食料品製造業	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 45.0	▲ 30.0	▲ 30.0
製造業計	▲ 42.3	▲ 50.0	▲ 23.1	▲ 38.5	▲ 46.2	▲ 38.5	▲ 57.7	▲ 53.8	▲ 42.3	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 26.9
卸売業	▲ 66.7	▲ 66.7	0.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 50.0
サービス業	▲ 100.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0
建設業	▲ 40.0	▲ 60.0	▲ 40.0	0.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	▲ 20.0	20.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 45.8	▲ 41.7	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 45.8	▲ 34.8	▲ 30.4	▲ 26.1	▲ 39.1	▲ 37.5	▲ 41.7	▲ 25.0
全体	▲ 44.0	▲ 46.0	▲ 24.0	▲ 36.0	▲ 46.0	▲ 36.7	▲ 44.9	▲ 40.8	▲ 40.8	▲ 38.0	▲ 36.0	▲ 26.0

《収益推移グラフ》

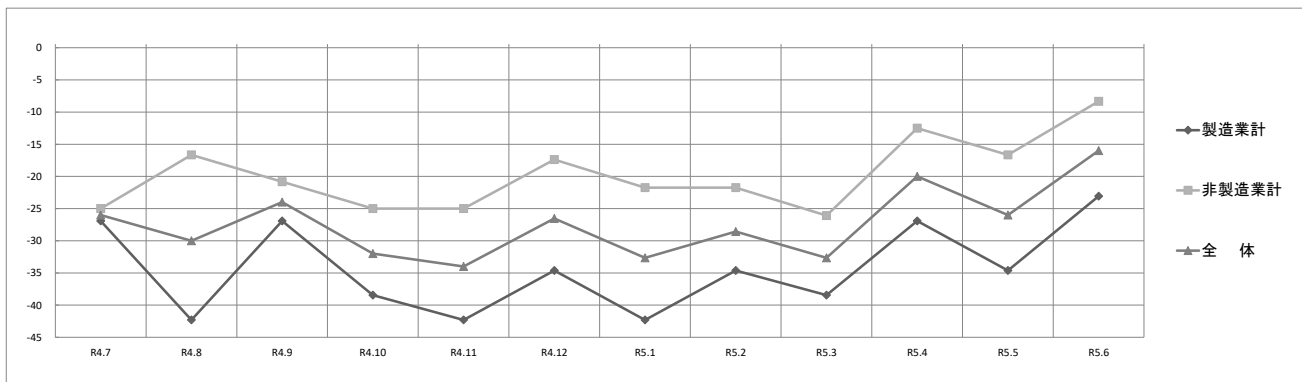


D I 値推移表 (R4. 7月 ~ R5. 6月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R4. 7	R4. 8	R4. 9	R4. 10	R4. 11	R4. 12	R5. 1	R5. 2	R5. 3	R5. 4	R5. 5	R5. 6
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 15.0
製造業計	▲ 26.9	▲ 42.3	▲ 26.9	▲ 38.5	▲ 42.3	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 34.6	▲ 38.5	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 23.1
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 41.7	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 16.7
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0
建設業	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 17.4	▲ 21.7	▲ 21.7	▲ 26.1	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 8.3
全 体	▲ 26.0	▲ 30.0	▲ 24.0	▲ 32.0	▲ 34.0	▲ 26.5	▲ 32.7	▲ 28.6	▲ 32.7	▲ 20.0	▲ 26.0	▲ 16.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R4. 7	R4. 8	R4. 9	R4. 10	R4. 11	R4. 12	R5. 1	R5. 2	R5. 3	R5. 4	R5. 5	R5. 6
食料品製造業	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 35.0
製造業計	▲ 46.2	▲ 42.3	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 38.5	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 34.6
卸売業	▲ 66.7	▲ 66.7	0.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 27.3	▲ 9.1	▲ 18.2	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 25.0
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	50.0	50.0
建設業	▲ 20.0	▲ 60.0	▲ 20.0	0.0	0.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 30.4	▲ 17.4	▲ 26.1	▲ 17.4	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 12.5
全 体	▲ 36.0	▲ 38.0	▲ 28.0	▲ 26.0	▲ 30.0	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 24.5	▲ 24.5	▲ 22.0	▲ 18.0	▲ 24.0

《景況推移グラフ》

